

平成 29 年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	Nerima 若手 ChefsClub
事業名	都市農業の魅力創造～味（ビ）ストロ練馬～

1 平成 29 年度の取組内容

本事業は、練馬区が誇る都市農業の素晴らしさを伝えるため、区内で飲食店を営むシェフ達が練馬産野菜の良さを活かしたオリジナルレシピを開発し、イベント開催・出店等により、練馬の「農」の魅力を多くの方に提案する取り組みです。

平成 29 年度は、当団体と区内農家との協力関係を構築し、レシピを開発。開発したレシピを、様々なイベントで提供することを目標にされてきました。

11 月の JA 東京あおば農業祭に約 700 食、3 月の練馬こぶしハーフマラソン 2018 に約 500 食のオリジナルレシピを出品。計約 1,200 食が売り切れました。また、1 月には初主催イベント「食のイベント 味（ビ）ストロ練馬 vol.1」をココネリで開催。オリジナルレシピ 8 品を提供するほか、若年層や日頃、区主催イベント等への参加に結びつきにくい層の区民に訴求するため、異業種（音楽、アート、ファッションなど）とともにイベントを作り上げ、結果、約 4,500 名と入場制限をするほどの来場がありました。

2 平成 29 年度の評価

区職員と協働した効果もあり、活動開始から約半年にも関わらず、数多くの区民に練馬産野菜の美味しさを伝えられた点が評価できます。しかし、イベント開催という一過性のブームで終わってしまう危険性もあり、今後は、安定・継続的に区民へ野菜やレシピを提供できる地産地消の仕組みづくりが必要です。

練馬産野菜を多くの区民に届けるためには、農家からの野菜の安定供給に資する取り組みを検討しなくてはなりません。農家としては、当団体への販路確保を約束することで、野菜の作付けの充実にもつながるでしょう。関係が構築されている農家の数もまだ十分ではありませんので、今後の展開に期待します。

また、区内の農園では、あまり馴染みのない野菜も栽培されています。区民が手に取りやすくなるように、シェフのレシピで調理方法を伝えることも都市農業の多品種少量生産の特徴を活かせる方法と考えます。

平成 30 年度以降は、シェフの店舗や農園併設の野菜直売所など、より区民の生活に身近な場所で、練馬産野菜の魅力をシェフのレシピを通じて伝えていただきたいと思います。区報や SNS（ソーシャルネットワークサービス）、メディアなど効果的な広報活動は、区と協働して得られるメリットですので、引き続き充実していただくことを期待します。

3 平成 30 年度の事業継続

〔 可 ・ 不可 〕 とする